

白河高校図書館における読書活動推進へ向けた取組

1 学校の概要

- 1 住所 福島県白河市南登り町54番地
- 2 学級数 18クラス 生徒数 667名 (令和6年5月1日現在)
- 3 学校図書館の蔵書数 33,491冊 (令和6年5月1日現在)

2 読書活動推進へ向けた取組

(1) 生徒が本に親しみやすく、使いやすい学校図書館環境の一層の充実へ向けた取組

◎掲示や展示

- ・ 図書委員のおすすめの本コーナー：図書委員が月に1枚POPを作成し、図書と並べて展示している。人気が高く、ここから借りていく生徒も多い。
- ・ 小論文コーナー：大学入試の小論文試験に出題が予想されるテーマの図書を揃え、生徒の進路実現に役立てている。また、毎年司書が「小論文対策用図書リスト」(A3両面1枚)を作成し、3年生と全職員に配付するとともに館内に設置している。生徒、教員ともに利用が多い。
- ・ 映画・ドラマ原作コーナー：来館者の興味を引くためカウンター前に設営。
- ・ 職業の本コーナー：進路を考えるための職業紹介本をまとめて配架。利用も多い。
- ・ 昇降口掲示板：図書用に1枚借用して図書館関係の情報を掲示している。

◎休憩スペース

- ・ 生徒が休み時間に寛げるようベンチを置いている。雑誌を見ながら休憩する生徒も。



図書委員のおすすめ本



小論文コーナー



ビブリオバトルで紹介された本



「源氏物語」の世界へ



図書館入口「新着図書」



休憩スペース

◎広報

・「図書館だより」(月1回)

本や図書館に関する情報、図書委員によるおすすめ本の紹介、新着図書一覧などを掲載している。発行後は掲載本と並べて掲示しPR。

・「図書館報」発行(年1回)

生徒や教師からの寄稿、図書委員の作品、各種統計などを掲載し、読書活動の一助としている。発行後は「図書館報」コーナーを設け掲載本を探しやすくしている。

◎公開文化祭(令和6年度に実施)

図書委員会企画「はじまりの図書館と本を巡る旅」と題してパネル展示、葉作り、スタンプラリーを行った。来場者は258名。本校生にとっても図書館に親しむ良いきっかけとなるよう、図書委員生徒が工夫を凝らして活動した。

(2) 学校における読書を通じた読書習慣の定着を図る取組

◎新入生オリエンテーション

読書の楽しさや図書館利用方法を伝え、生徒ができるだけ早く図書館になじめるよう入学後すぐに実施している。また、調べ学習などの際にも要請があれば「図書館での調べ方」についてのオリエンテーションを実施できるよう準備している。

◎読書週間PR

図書委員がポスターを作成し、教室や図書館、昇降口に掲示するとともにクラスでのPRも行っている。また、令和4年度から、県南高等学校図書館研究会で共有した他校生作成のPOPを本校生のもと一緒に展示し、貸出を促す役割を果たした。

◎先生方との連携

長期貸出開始時、読書週間等のタイミングでは、先生方からの声かけもお願いし、生徒が図書館に足を運ぶ機会が増えるよう協力を仰いでいる。

(3) 読書活動の質の向上へ向けた取組

◎校内ビブリオバトルの開催

図書委員会主催で「校内ビブリオバトル」を行っている。5回目となる令和6年度は読書週間直前の10月23日に開催した。図書委員が企画段階から当日の運営まで携わった。令和6年度は生徒24名、教職員8名が参加した。事後アンケートの結果からは、観覧した生徒が本を読みたい気持ちになるなど、良い刺激を受けている様子が読み取れる。



校内ビブリオバトル

(4) その他、読書活動推進へ向けた取組

◎公共図書館、他校図書館との連携

資料の不足を補うため、公共図書館や他校図書館とも相互貸借を行っている。購入を待てない急ぎの場合や、一時的に同一テーマの資料が複数必要な場合、絶版で入手困難な資料などの相互貸借が多い。近隣校の所蔵を知るために、県南司書研修会会員校(データベースが構築されている学校のみ)では蔵書データを提供し合って総合目録を構築している。

◎リクエスト制度

カウンターにリクエスト用紙を用意し、気軽にリクエストできるようにしている。

◎図書委員会活動

日々のカウンター当番、図書館だよりへの寄稿、図書館報作成、POPやポスター作成などの広報活動を行い、本校生の読書推進のために一役買っている。



図書委員会